

平成26年度

# 岡山県立博物館協議会

## 第2回 開催要項

日 時：平成27年3月18日(水) 10:00～12:00

会 場：岡山県立博物館 「講堂」

### 1 開会

### 2 議 題

(1) 平成26年度事業について

- ア 展 覧 会
- イ 教育普及事業
- ウ 入館状況

(2) 平成27年度事業(案)について

- ア 展 覧 会
- イ 予 算

(3) 長期展覧会計画(案)について

(4) サービス向上への取り組みについて

(5) その他

### 3 閉会

(1) 平成26年度事業について

ア 展覧会

	第1室 (考古)	第2室 (古代・中世)	第3室 (近世・民俗)	第4室 (備前焼・刀剣)
3/25～4/20 春季展(2) 24(27)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の仏像 岡山の古刹 海中の古備前(播鉢と壺)	雛人形 旅と巡礼 花交の池木樋管 御舟入公開記念池田家関連資料	岡山の新刀・新々刀 ☆特別陳列 備前焼-歴史と「只今」-
4/22～5/18 春季展(3) 24(27)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の仏像 岡山の宗教家～重源と栄西 中世流通の発達 足利将軍の古文書	村や町の古文書 花交の池木樋管 御舟入公開記念 池田家関連資料 はこぶ	よみがえった備前刀 ☆<特別陳列> 重要文化財 色々威甲冑 備前焼名品選
5/23～6/29 特別展(1) 33(38)日	山田方谷			
7/4～7/27 夏季展(1) 21(24)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の仏像 木簡 中世の商品流通 浦上氏資料 ☆<特別陳列>西大寺古本縁起	城下町岡山と池田氏 江戸時代のお金 ☆<特別陳列>備中高松城の水攻め	よみがえった備前刀 戦国時代の備前焼
7/31～9/7 企画展・夏季展(2) 33(38)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の城と戦国武将	城下町岡山と池田氏 江戸時代のお金 備中高松城の水攻め	戦国時代の備前刀 戦国時代の備前焼
9/11～10/5 秋季展(1) 22(25)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料- ☆<特別陳列>大地からの便り	木簡 吉備真備 岡山の宗教家 岡山の宗教美術 岡山の荘園	城下町岡山と池田氏 花交の池木樋管 国総凶 若宮八幡宮の文化財	戦国時代の備前刀 徳利・とっくり・トクリ(備前焼)
10/10～11/16 特別展・(2) 秋季展(2) 33(38)日	池田綱政300回忌記念 護国山曹源寺			神に捧げられた刀剣 徳利・とっくり・トクリ(備前焼)
11/21～12/25 冬季展(1) 29(35)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の宗教美術 岡山の中世寺院文書 社寺参詣	岡山の歴史早わかりコーナー 後楽園の名品	神に捧げられた刀剣 細工物-備前焼- ☆<特別陳列>幕末・明治の超絶技巧 正阿弥勝義と逸見東洋
1/1～1/12 冬季展(2) 11(12)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の宗教美術 岡山の中世寺院文書 社寺参詣	岡山の歴史早わかりコーナー 後楽園の名品 (魯山人書「いろは屏風」・仁王像)	神に捧げられた刀剣 ☆<特別陳列>赤韋威鎧と山鳥毛 幕末・明治の超絶技巧 正阿弥勝義と逸見東洋 細工物-備前焼-
1/16～2/15 交流展・冬季展(2) 28(32)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山・高知文化交流事業 戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏 ☆<特別陳列>和気安養寺の文化財	岡山の歴史早わかりコーナー 後楽園の名品 (魯山人書「いろは屏風」・仁王像)	備前・備中・備後の刀剣 幕末・明治の超絶技巧 正阿弥勝義と逸見東洋 細工物-備前焼-
2/19～3/22 春季展(1) 28(32)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山藩と尊王攘夷 岡山の荘園	岡山の歴史早わかりコーナー 下駄	備前・備中・備後の刀剣 岡山のやきもの
3/24～(4/19) 春季展(2) 24(27)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	桜咲く～花見の歴史～ 岡山の宗教美術 岡山の荘園 長州征討から戊辰戦争へ	岡山の歴史早わかりコーナー ☆《特別陳列》「寄贈資料紹介」 奇傑 古川古松軒の真筆資料	岡山の新刀・新々刀 岡山のやきもの

## 展 覧 会 自 己 評 価 シ ー ト

展覧会名		特別展「山田方谷」					開催期間	平成26年5月23日～6月29日			
入館者等	目標(A)	10,000	実績(B)	4,454	達成率(B/A)	45%	収入予算額	2856千円	実績	1364千円	
	一般	2,569	65歳以上	1,726	その他	159	支出予算額	5248千円	実績(見込)	4663千円	
<b>展示の趣旨・目的</b> 山田方谷自筆の書簡や漢詩、その他関連する資料等から、方谷の思想や生き方を紹介する。また、方谷に影響を受けた多くの門人たちや、親交のあった人々を紹介する。											
<b>入館者アンケート</b>								満足度	85%		
<肯定的> 方谷本人だけでなく、その門人や関りのあった人まで広く取り上げていた。 子どもにもわかりやすい様な中洲先生の説明書きがよかった。 関係のある博物館や記念館、個人からたくさん集められて力の入り様が感じられた。											
<否定的> 事績についての時代背景であるとか、同時代的な歴史の流れとか、解かるようにしてほしかった。 解説は字を大きく、見やすくすること。											
<b>自己評価</b>			<b>全体評価</b>								
県下全域に目を向けて、関連資料を調査し、できるだけ広い範囲から借用した点は、方谷研究や顕彰に寄与することができたと考える。しかし、その分取りまとめや図録等の準備期間が圧迫され、校正等が不十分となってしまった。また、広報では、各所からの協力の話に頼りすぎた。主体的かつ具体的な広報計画を立てるべきであった。											
<b>個別評価</b>					<b>工夫・改善点</b>						
①資料調査 所在不明の資料をできる限り探して調査した。					長期計画に基づいて数年前から展覧会の準備を進める。急遽計画する場合には秋に設定するなど、開催時期を十分に検討する。						
②資料借用 できるだけ広い範囲から借用するように心がけたが、県内は公用車での借用となり、日数を要した。					調査時期を早め、できるだけ無駄なく借用先を回れるようにすること、運搬業者を利用できるよう予算を確保する。						
③展 示 テーマごとに展示室を分けて、理解しやすいように心掛けた。キャプション等の準備が遅れたため、ミスがみられた。					図録の作成時期が展覧会準備につながるの、写真撮影と原稿作成の時期を準備スケジュールの早い段階に位置づける。						
④返 却 返却箇所が多い上に次の展覧会の借用期間と重なったので、担当同士が相談して借用と返却を同時に行った。					資料返却の時期が、時期展覧会の資料借用時期と重なる場合には十分な打ち合わせと運送業者の確保が必要。						
⑤図録等作成 自分の執筆が遅れ、スケジュール通りに進めることができなかった。その影響で校正が不十分となった。					写真撮影と原稿作成の時期を準備スケジュールの早い段階に位置づける。						
⑥関連行事 2回の記念講演会は、いずれも多くの聴講者があり、盛況であった。講演会中に体調不良となる参加者があった。					体調不良者が出た場合に対応できる態勢の確保と、入場者の制限を設ける必要がある。						
⑦広 報 なかなかマスコミ等にも取り上げてもらうことができなかった。ターゲットを絞った広報ができなかった。					4室特別展の場合、テーマによっては小学校の博物館利用がのぞめない。公民館等生涯学習施設を中心に広報する。						
【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 23回											

展覧会名		企画展『岡山の城と戦国武将』 同時開催『正子公也戦国武将画展』					開催期間		平成26年7月31日(木) ～9月7日(日)		
入館者等	目標(A)	8,000	実績(B)	6,703	達成率(B/A)	83%	収入予算額	—	実績	—	
	一般	4,878	65歳以上	987	その他	838	支出予算額	—	実績(見込)	—	
<b>展示の趣旨・目的</b> 岡山県内の主要な城を取り上げ、最新の発掘調査や歴史研究の成果を展示し、地域の歴史を物語る貴重な文化財である城の魅力を紹介した。あわせて、岡山県出身で歴史・武将イラストの第一人者である正子公也氏が描いた戦国武将画を展示して、幅広い世代が歴史に親しんでもらう機会とした。											
<b>入館者アンケート</b>								満足度	82%		
<肯定的> 岡山ゆかりの戦国武将がとてもわかり易くて、その人となりからお城まで興味が一層惹かれそうだった あまりとりいれられない山城がテーマで興味深かった 武将のイラストを大きいサイズで見られてよかった。点数がもっと多いともっと良かった。											
<否定的> もっと多くの岡山の武将がほしい 博物館らしい絵ではないと思う 武将の説明(絵の展示)が足元にあたりして読みにくかった(低すぎて)											
<b>自己評価</b>		<b>全体評価</b>									
正子公也氏による戦国武将画展を同時開催し、展覧会の魅力向上や若い世代の入館者増など、文化財と現代アートとのコラボレーションによる相乗効果を挙げる事ができた。											
<b>個別評価</b>					<b>工夫・改善点</b>						
①資料調査 早期準備と依頼により、借用希望資料のほとんどについて承諾が得られた。					早期の事前準備と展示資料の精選に努めた。						
②資料借用 美術品取扱専門業者と公用車を併用して、計画的・効率的に借用することができた。					借用計画の検討及び文化財の状態把握をより早期に行った。						
③展示 趣旨・目的を十分に検討し、ほぼ予定通りの展示ができた。ただし、現状の展示施設では対応できない部分もあった。					展示計画の充実及び展示施設・設備の改善を進める。						
④返却 美術品取扱専門業者と公用車を併用して、計画的・効率的に返却することができた。					返却計画を十分に検討し、文化財の状況把握を行うよう心掛けた。						
⑤図録等作成 ポスター・チラシについて、予定通り刊行できた。					作成計画の十分な検討と、内容充実に関心する。						
⑥関連行事 期間中、毎週にわたって講演会・展示解説などを開催し、多くの入館者を得た。					事前準備の効率化と予算確保、会場・設備の改善に努める。						
⑦広報 通常の広報に加えて、林原美術館や備前長船刀剣博物館で同時期に開催された展覧会と共同キャンペーンを実施し、相乗効果を図った。					関係機関・報道機関への働きかけを行った。ポスター・チラシの有効な配布計画を行う。						
<b>【その他】</b> ■報道関係 新聞への掲載回数 12件											

展 覧 会 自 己 評 価 シ ー ト

展覧会名		池田綱政300年遠諱記念事業「護国山曹源寺」				開催期間	平成26年10月10日(金) ～11月16日(日)			
入館者等	目標(A)	10,000	実績(B)	8,179	達成率(B/A)	82%	収入予算額	1718千円	実績	1563千円
	一般	3,782	65歳以上	3,067	その他	1,330	支出予算額	3000千円	実績(見込)	3000千円
<b>展示の趣旨・目的</b> 岡山市中区円山に所在する曹源寺は山号を護国山といい、臨済宗妙心寺派の名刹である。本展覧会は曹源寺を建立した岡山藩主池田綱政の300年遠諱を記念するもの。曹源寺伝わる文化財を展示し、綱政以下、歴代岡山藩主の信仰世界を紹介した。										
<b>入館者アンケート</b>								満足度	87%	
<肯定的> 曹源寺の美術品がたくさん展示してあり、池田家の城主のものがたくさんあったので、見れて良かったです。今回の展覧ではじめて彫刻、坐像等拝見したが本当に見ごたえがありました。初めて学芸員の方のご説明を聞きながら回りましたが、とても良く判って、楽しく、よかったです。										
<否定的> 綱政個人のことをもう少し知りたい。 展示場の広さが足りない 展示物が少ない										
<b>自己評価</b>			<b>全体評価</b>							
外国人修行僧を受け入れることでよく知られる曹源寺の展覧会であったため、地元を中心に興味を持つ方が多かつた。実行委員会との連携により、マスコミ各社からの協力を得られた。										
<b>個別評価</b>					<b>工夫・改善点</b>					
①資料調査 実質2ヶ月という短い期間ではあったが、県報告書を有効活用し、効率的に調査を行えた。					資料目録を早めに準備し、作品分類ごとに調査と写真撮影を行った。彫刻作品についてはプロ写真家に撮影を依頼した。					
②資料借用 彫刻作品が多く、梱包に時間がとられたものの、概ね予定通りの期間で終わることができた。					山門彫像についてはクレーンを使用して下ろした。重機使用は大型資料の借用に有効であるが、予算との兼ね合いが問題になる。					
③展 示 3000点を越える資料の中から、テーマを絞り作品選定を行った。					立体作品(彫刻)の展示のため、展示台を新調した。ベンチ状の台座は、重量物に耐え、かつ持ち運びにも優れる。					
④返 却 事前に業者に工程表を渡して協議の上、作業に当たった。					重機使用の上、複数箇所への返却を行う場合、工程表の取り交わしは有効である。					
⑤図録等作成 資料調査の段階から、併行して図録作成を執り行った。ム切に余裕を持って終わることが出来た。					ページレイアウトを作成し、図録のページ構成表を渡して印刷業者と協議を重ねた。全体像を速く提示出来るよう工夫した。					
⑥関連行事 関連講座を3回実施したほか、実際に曹源寺境内を訪ねるウォークラリーを行った。					多くの参加者が見込める講座では整理券配布を行った。混乱が少なく有効性が確かめられた。					
⑦広 報 新聞とテレビの両方から大きく取り上げられることが多く、かなりの効果があった。					曹源寺周辺の公民館を中心に、集中的に広報を行った。結果、地元民の観覧者が多く来館した。					
<b>【その他】</b> ■報道関係 新聞への掲載回数 33回										

展覧会 自己評価シート

展覧会名		交流展「戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏」					開催期間	平成27年1月16日(金) ～ 2月15日(日)		
入館者等	目標(A)	8,000	実績(B)	5,760	達成率(B/A)	72%	収入予算額	849千円	実績	630千円
	一般	3,554	65歳以上	1,551	その他	695	支出予算額	3237千円	実績(見込)	3237千円
<b>展示の趣旨・目的</b> 四国をほぼ制覇した長宗我部氏と備前の宇喜多氏を取りあげる。それぞれの地域で強大な戦国大名となり、豊臣政権を経て関ヶ原の戦いで勢力を失う両者を比較し、またその接点を紹介する。これにより、両県の歴史・文化遺産を活用した交流を一層促進する。										
<b>入館者アンケート</b>								満足度	78%	
<肯定的> 宇喜多氏と長宗我部氏はどちらも謎の多い戦国大名なので少しでも明らかな材料があって大変うれしく思った。 石谷家文書の解説が丁寧で分かり易かった。※石谷家文書に対して見られてよかったという意見多数 プレートがわかりやすいキャラのものがよかった※キャラクターもとちかくんへの好評価多数 ----- <否定的> 宇喜多氏の生誕からの道のりが見えない。 長宗我部氏が展示からよく理解できない。宇喜多と長宗我部氏はどのような関連性があるのか。 説明文字が小さすぎる、読めない。										
<b>自己評価</b>			<b>全体評価</b> 岡山県と高知県を代表する戦国大名として、宇喜多氏と長宗我部氏を取り上げて紹介することができた。長宗我部氏の主立った文化財を展示できたので、長宗我部氏について理解を深めていただけたのではないかと考えている。2つの戦国大名を取り上げたため、内容過多が想定された。そのため、トピックス的な展示にならざるをえず、通史的な展示を期待していた方には物足りなかつた部分もあったかもしれない。							
<b>個別評価</b>					<b>工夫・改善点</b>					
①資料調査 早期から高知県立歴史民俗資料館担当者と打合せを行ってきたので、大きな問題はなかった。					早期に出品目録を作成した。					
②資料借用 事前の打ち合わせができていたので、特段問題はなかった。					相手先、業者との細かな打合せを実施した。					
③展 示 石谷家文書を含めて、話題になっていた長宗我部氏資料を展示できた。					展示テーマを早期に設定し、テーマにあわせた展示計画を立案した。					
④返 却 当初の予定通り、問題なく返却ができた。					相手先、業者との打合せを、細かな点まで実施した。					
⑤図録等作成 高知側の図録と岡山側のチラシ作成に関して、文化財の指定や名称の誤記があった。					チラシや図録作成時に、副担当と共に確認する等のチェック体制をとるようになる。					
⑥関連行事 高知大学津野教授、林原美術館浅利学芸課長を講師に招くことで、多くの方にご参加いただける行事を行うことができた。					宇喜多氏の関連行事がなかったので、今後はバランスを考えて、行事の設定等を検討したい。					
⑦広 報 県広報も含めて、可能な限り広報を行うことができた。NHKの歴史番組に取り上げてもらうこともできた。					社会教育施設や関連団体への広報を行う。					
<b>【その他】</b> ■報道関係 新聞への掲載回数 35回 林原美術館所蔵石谷家文書の最新研究成果が盛り込めたので、古文書に興味関心を持って見ていただけたと感じた。										

## イ 教育普及事業

(H26は、2月28日現在)

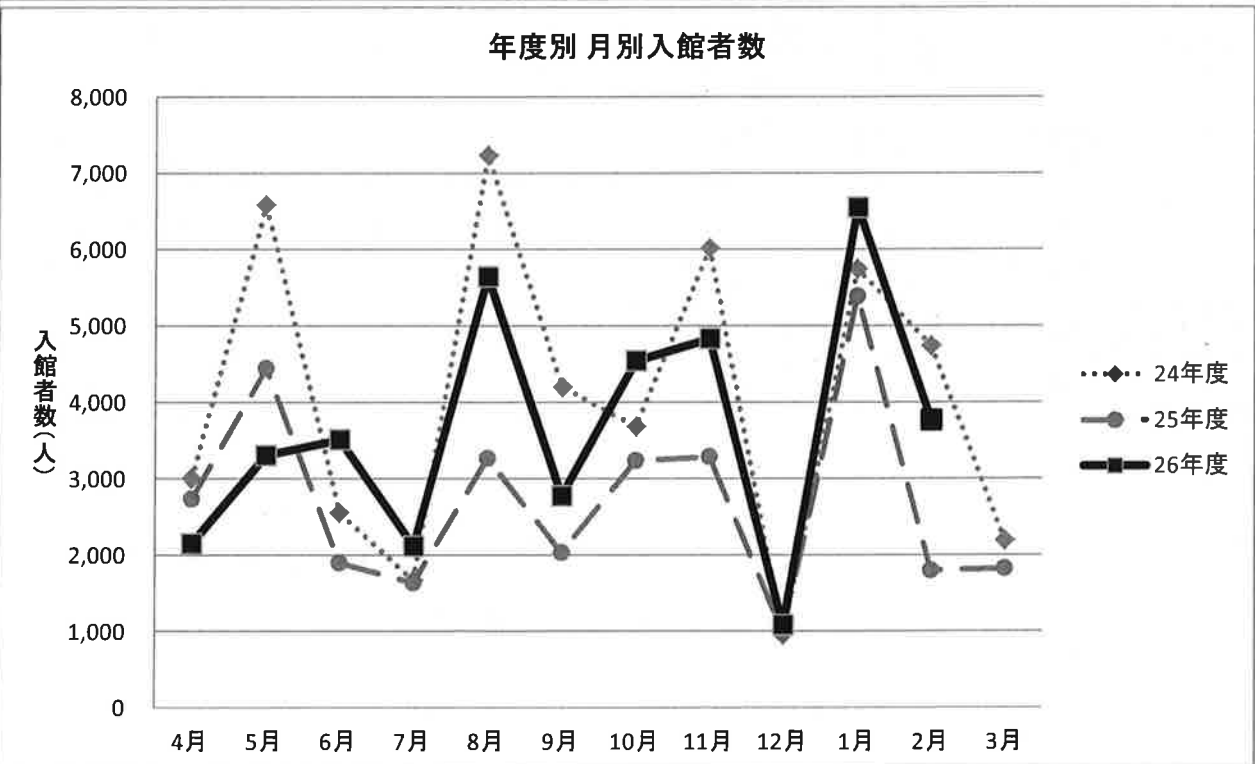
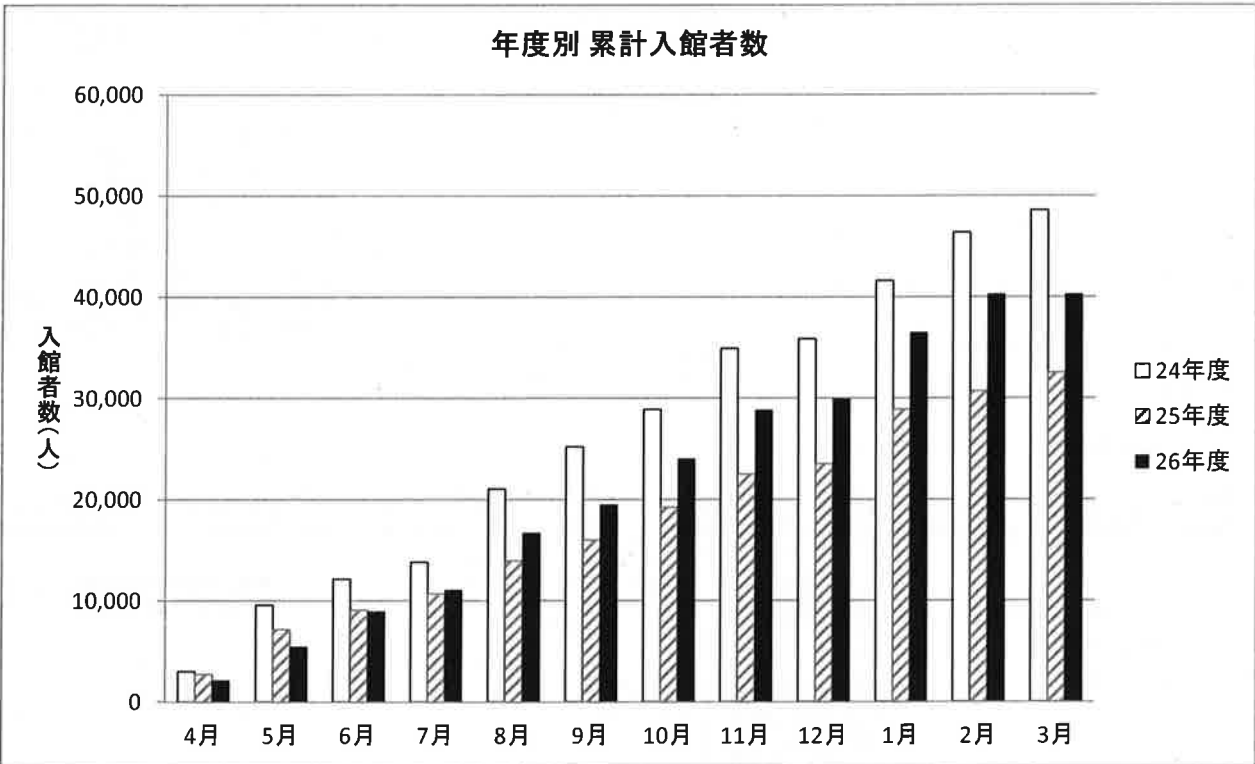
事業名	実績		備考
	H26	H25	
①館内授業・出前授業・探検ツアー			
館内授業	24校、1,234人	44校、2,582人	
出前授業	23校、1,649人	27校、1,923人	
②吉備の国ジュニア歴史スクール	70人	86人	2コース
③ジュニア学芸員講座	14人	19人	25年度新規事業
④博物館講座	スタンダード 108人 スペシャル 72人	スタンダード 110人 スペシャル 108人	
⑤博物館実習	1回、10人	1回、15人	
⑥中学生職場体験	11校、29人	11校、19人	

ウ 入館状況

月別入館者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2月末現在
24年度	3,005	6,577	2,555	1,671	7,234	4,203	3,684	6,018	955	5,746	4,742	2,194	48,584	46,390
25年度	2,737	4,444	1,898	1,639	3,268	2,033	3,238	3,288	994	5,390	1,800	1,822	32,551	30,729
26年度	2,151	3,306	3,510	2,119	5,643	2,776	4,542	4,832	1,082	6,548	3,767		40,276	40,276



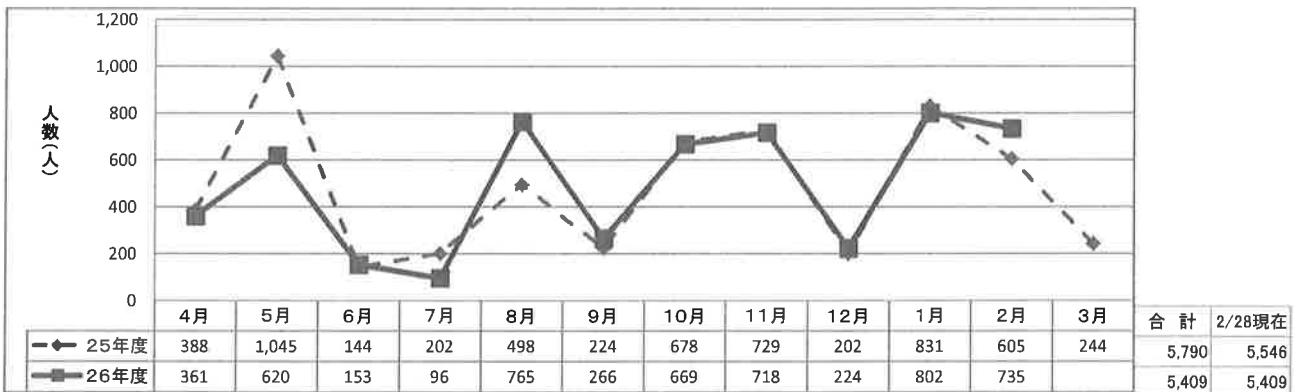


# 展覧会別入館者

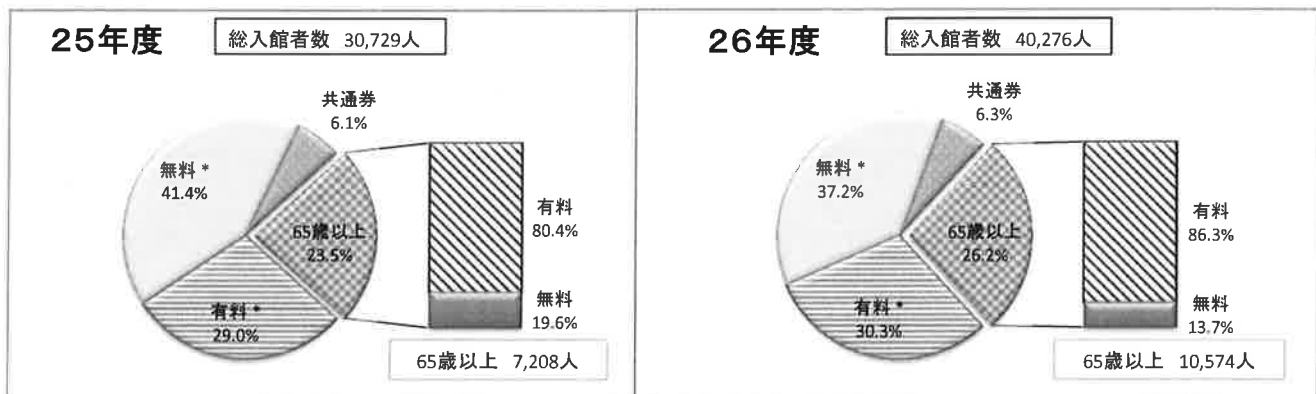
平成27年2月28日現在

展覧会名	目標に対する実績		達成率	入館者の割合			
	目標	実績		一般	65歳以上	高校生以下	
企画展 岡山の城と戦国武将	目標	8,000人	83.8%	72.8%	14.7%	12.5%	
	実績	6,703人					
特別展	護国山曹源寺	目標	10,000人	81.8%	46.2%	37.5%	16.3%
		実績	8,179人				
	山田方谷	目標	10,000人	44.5%	57.7%	38.7%	3.6%
		実績	4,454人				
交流展 戦国武将宇喜多氏と長宗我部氏	目標	8,000人	72.0%	61.7%	26.2%	12.1%	
	実績	5,760人					
平常展	目標	16,000人	94.9%	62.6%	21.7%	15.7%	
	実績	15,180人					
計	目標	52,000人	77.5%	60.3%	26.3%	13.4%	
	実績	40,276人					

## 高校生以下の入館状況



## 入館者別割合《各年度とも2月28日現在で比較》



注: 有料\* 無料\* は、65歳以外の入館者をいう。

## (2) 平成27年度事業(案)について

## 平成27年度 年間展示計画 一覧表(案)

平成27年3月15日現在

	第1室 (考古)	第2室 (歴史・美術)	第3室 (通史・民俗ほか)	第4室 (備前焼・刀剣・民俗)
(3/24)～4/19 春季展(2) 27(24)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	桜咲く～花見の歴史～ 岡山の宗教美術～観音信仰と巡礼～ 岡山の荘園、長州征討から戊辰戦争へ	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆《特別陳列》「寄贈資料紹介 奇傑 古川古松軒の真筆資料」	おかやまのやきもの 備前・備中・備後の刀剣
4/22～5/31 春季展(3) 40(34)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の宗教美術～岡山の浄土信仰～ 岡山の書 大坂の陣と池田氏	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆《特別陳列》「岡山を訪れた勤王の志士 ～久坂玄瑞、桂小五郎、坂本龍馬の足跡～」	備前刀の歴史(赤羽刀) 備前焼の歴史 郷原漆器、色々威甲冑
6/2～7/12 夏季展(1) 41(36)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の宗教美術～神と仏～ 岡山の書	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆《特別陳列》「文人画の世界 ～浦上玉堂から黒田綾山まで」	備前刀の歴史(赤羽刀) 備前焼の歴史 郷原漆器
7/16～9/13 企画展・夏季展(2) 60(52)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	☆カルチャーゾーン30周年記念 企画展 岡山カルチャーゾーンの魅力	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 後楽園の名品	備前刀の歴史(戦国刀) 備前焼の歴史
9/18～11/8 秋季展(1) 52(45)日	☆特別展「破格——桃山備前——」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 後楽園の名品	備前刀の歴史(戦国刀) 備前焼の歴史
11/13～12/23 特別展(2) 41(35)日	☆特別展 発掘された日本列島2015			
1/1～1/17 冬季展(1) 17(15)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の宗教美術～釈迦の美術～	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 十二支屏風	備前刀の歴史(名品選) 細工物(備前焼) ☆《特別陳列》「国宝 赤草威鎧」
1/22～2/21 冬季展(2) 32(28)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山県・鳥取県交流事業 ☆交流展「鳥取藩池田家32万石」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 農村の絵図と古文書	備前刀の歴史(名品選) 細工物(備前焼)
2/25～3/21 春季展(1) 25(22)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の宗教美術～密教信仰と圖像～	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆《特別陳列》「人々の暮らしと占い ～大国家文書の世界～」	備前刀の歴史(奉納刀) 備前焼の歴史
3/23～(4/18) 春季展(2) 27(23)日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の宗教美術～熊野信仰と修験道～ 洛中洛外図屏風	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆《特別陳列》「人々の暮らしと占い ～大国家文書の世界～」	備前刀の歴史(奉納刀) 備前焼の歴史

## ア 展覧会

事業名	<b>岡山カルチャーゾーン誕生30周年記念事業</b> <b>企画展「岡山カルチャーゾーンの魅力」</b>
期間	平成27年7月16日(木)～9月13日(日)
趣旨	「岡山カルチャーゾーン」の設立30周年を迎えることから、ゾーン内にあつて資料・作品を所蔵する施設がそれぞれ名品を出品し、岡山カルチャーゾーンの魅力を紹介するとともに、岡山の歴史と文化のすばらしさを再発見する機会とする。
主要展示資料	「立田姫」 昭和6(1931)年 夢二郷土美術館 重要文化財 老子図牧谿筆 13世紀 南宋時代末～元時代初 岡山県立美術館 ドゥームテフ神像 前664-前332年頃 岡山市立オリエント美術館
関連行事等	①記念講演会「自分たちが育てる岡山の文化」 ②各施設の学芸員による名品紹介トークバトル ③テーマで巡るカルチャーゾーン回遊ツアー ④博物館クイズラリー ⑤学芸員による展示解説
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 (1室使用)

事業名	<b>特別展「破格——桃山備前——」</b>
期間	平成27年9月18日(金)～11月8日(日)
趣旨	備前焼は、日本人の美意識について考える上でも興味深い対象とされ、海外からの関心も強い。中でも、安土・桃山時代に制作された「茶湯」に関わる作品(花入、水指など)への注目度が高い。現在、安土・桃山時代に制作された備前焼の名品の多くは岡山県外にあることが多く、実際に見る機会は少ない。このたびの展覧会では、そうした名品を一堂に集めて展示を行い、岡山県が誇るやきものである備前焼の魅力を再確認する。
主要展示資料	備前焼 花入 銘「太郎庵」 安土・桃山時代 備前焼 花入 銘「大芋虫」 安土・桃山時代 織部焼 茶碗 銘「柁垣」 安土・桃山時代
関連行事等	①記念討論会 ②お茶会 ③学芸員による展示解説
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生100円、小人80円、5歳未満無料 (2室使用)

事業名	<b>特別展「発掘された日本列島2015」</b>
期間	平成27年11月13日(金)～12月23日(日)
趣旨	全国では埋蔵文化財の発掘調査が毎年約8000件近く実施されている。本展は、近年とくに注目された発掘成果やその出土品を紹介する全国巡回展である。国民に歴史や文化財への理解と関心を深めてもらうことを目的に平成7年度から毎年開催しており、平成27年度で21回目となる。あわせて、岡山会場の地域展として「邪馬台国と吉備」(仮)、および「大地からの便り2015」を開催し、岡山県内の近年の発掘成果を紹介する。
主要展示資料	栃木県下野市 甲塚古墳 馬形埴輪 岩手県滝沢市 けやきの平団地遺跡 人体文付縄文土器
関連行事等	①記念講演会 第1回 発掘された日本列島展の見どころ(仮) 第2回 邪馬台国と吉備(仮) ②「大地からの便り2015」報告会 報告者 岡山県古代吉備文化財センター職員ほか ③学芸員による展示解説
備考	入館料 大人650円、65歳以上320円、高校生200円、小人180円、5歳未満無料(4室使用)

事業名	<b>交流展 岡山・鳥取高知文化交流事業「鳥取藩池田家32万石」</b>
期間	平成28年1月21日(木)～2月21日(日)
趣旨	寛永9(1632)年に備前国から因幡・伯耆国へ入封した池田光仲を祖とする、鳥取藩池田家32万石を取り上げる。慶長8(1603)年から因幡・伯耆国へ移動するまでの備前国内のことを知ることのできる史料も含め、現在の岡山県と鳥取県との接点を紹介する。
主要展示資料	池田恒興画像 江戸時代 鳥取県立博物館蔵 池田輝政画像 江戸時代 林原美術館蔵 池田利隆画像 江戸時代 林原美術館蔵 尾州小牧長久手合戦図 江戸時代 鳥取県立博物館蔵
関連行事等	①記念講演会「鳥取藩と江戸幕府」 ②記念講演会「藩主肖像画から見える鳥取藩と岡山藩の関係」 ③ボランティアによる展示ガイド ④学芸員による展示解説
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)

平成 27 年度 予 算 (案)

[ 県 費 ]

[ 歳 入 ]

(単位：千円)

財 源 内 訳	27年度	26年度	増 減	備 考
使用料及び手数料	4,412	5,108	▲ 696	入館料、講堂使用料
諸 収 入	380	380	0	博物館講座受講料
一 般 財 源	68,372	66,916	1,456	
合 計	73,164	72,404	760	

[ 歳 出 ]

(単位：千円)

項 目 名	27年度	26年度	増 減	備 考
①展覧会事業	17,047	15,411	1,636	
<内訳>				
・企画展(1回)、平常展	3,453	3,926	▲ 473	
・特別展(2回)	10,713	8,248	2,465	
・鳥取県との交流展	2,881	3,237	▲ 356	
②教育普及事業	380	1,408	▲ 1,028	
<内訳>				
・文化遺産映像記録作成事業	0	1,028	▲ 1,028	事業終了
・博物館講座	380	380	0	
③資料購入費(修繕費)	486	524	▲ 38	
④博物館協議会	324	324	0	
⑤維持管理費	54,927	54,737	190	
合 計	73,164	72,404	760	

[ 26年度末補正(27年度への繰越事業) ]

(単位：千円)

項 目 名	27年度	26年度	増 減	備 考
県立博物館魅力アップ事業	15,300			
<内訳>				
・常設展示用レプリカ等作成	8,300			国の地方創世を目指した交付金制度を活用した事業
・体験用鎧・兜の整備	4,500			
・博物館広報スタッフの配置	2,500			
合 計	15,300	0	0	

[ 岡山県教育職員互助組合の助成 ] <予定>

(単位：千円)

項 目 名	27年度	26年度	増 減	備 考
吉備の国ジュニア歴史スクール	1,225	1,225	0	
ジュニア学芸員講座	300	300	0	
合 計	1,525	1,525	0	

# 長期展示計画(案)

年度		企画展		特別展		交流展		交流展(他会場)	
		2 室		4 室					
27	2015	岡山カルチャーゾーンの 魅力	破格 -- 桃山備前 --	発掘された日本列島 2015	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化 I 「鳥取藩池田家32万石」				
28	2016	匠の道具	東寺百合文書の世界 -- 新見荘を中心に --	祈りと造形 -- 岡山の宗教美術 --	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化 II 「古代伯耆・因幡の世界」				
29	2017	岡山の鉄道	虫明焼(伊木三猿斎)	真金吹く吉備 -- 鉄(くろがね)の美 --	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化 III 「鳥取藩の絵師」			「池田光政 鳥取開府400年」	
30	2018	岡山の絵馬	境界と領域 藩・国・郡・村の意識	桃山の美	(中四国博物館ネットワーク構築事業) (徳島の歴史と文化 I)			(中四国博物館ネットワーク構築事業) (岡山の歴史と文化 I)	
31	2019	ほとけのひみつ	備前と肥前 -- 刀と陶磁器 --	岡山の戦国時代	(中四国博物館ネットワーク構築事業) (徳島の歴史と文化 I)			(中四国博物館ネットワーク構築事業) (岡山の歴史と文化 I)	

#### (4) サービス向上への取組について

<b>展示活動</b>
1 通史展示コーナーの設置 ◇1階第3室に岡山県の歴史が一目でわかる通史コーナーを設置した。(11月)
2 キャラクターによる解説 ◇中洲先生(三島中洲)、元親君(長宗我部元親)等のキャラクターによる平易な解説キャプションを設置した。
3 正月の臨時開館 平成27年1月1日(木)～4日(日) ◇元旦は入館料無料とし、国宝2点の展示を始め、正月にふさわしい展示内容を工夫した。 ◇後楽園の入園者を誘導し、元旦は後楽園入館者の約3割が博物館へ入館した。 ◇ボランティアの協力による昔遊びコーナーの設置や指定管理者によるガボールンアートのディスプレイしを実施した。
4 開館記念日の無料開館 ◇8月29日(金)の開館記念日を入館料無料とした。
<b>学校教育との連携(教育普及事業)</b>
1 昨年に引き続き「ジュニア学芸員講座」を開催した。 8月
2 初任者研修での館蔵資料を活用した体験授業の実施した。 1月23日、30日
3 おかやま教育支援活動メニューフェアへ参加し学校関係者に博物館の利用を紹介するとともに、教育利用促進のためのパンフレットを全校に配布した。 12月
4 教員免許更新講習の講座を大学との連携により開催した。
<b>広報活動</b>
1 吉備の国文化遺産映像資料について、ホームページの公開とともに岡山県立図書館デジタル大百科に登録し閲覧を可能とした。
2 フェイスブックの更新頻度を高め、タイムリーな情報の発信に努めた。
3 護国山曹源寺展について、山陽新聞社に加え山陽放送に共催を依頼し、テレビやラジオでのスポット広告を行った。また、JR岡山駅にポスターを掲示した。
<b>その他(利用環境、アクセスの充実)</b>
1 館内案内板に英語表記を加えた。

## 岡山県立博物館協議会条例

〔昭和46年6月25日  
岡山県条例第47号〕

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

## 岡山県立博物館協議会運営規則

〔昭和46年7月1日  
岡山県教育委員会規則第13号〕

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例（昭和46年岡山県条例第47号）第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議（以下「会議」という。）に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。



## 岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成27年2月5日～平成29年2月4日）

平成27年2月現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	森 寺 勝 之	学校教育関係者	吉備中央町立大和小学校長	H26. 7	
2	小 田 洋 子	"	備前市立吉永中学校教頭	H27. 2	新 任
3	松 下 晶 子	"	岡山県立笠岡高等学校長	H25. 7	
4	丸 池 宣 子	社会教育関係者	岡山県婦人協議会評議員	H25. 2	
5	岡 本 啓	"	岡山県生涯学習センター所長	H25. 7	
6	延 江 典 子	"	岡山県青年団協議会副会長	H25. 2	
7	宇 野 均 恵	家庭教育関係者	NPO法人子ども劇場笠岡センター理事長	H21. 2	
8	長 江 真理子	"	NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場 代表理事	H21. 2	
9	岡 本 隆 明	学識経験者	(株) 山方永寿堂代表取締役社長	H23. 2	
10	藤 實 久美子	"	ノートルダム清心女子大学文学部 現代社会学科准教授	H23. 2	
11	光 本 順	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授	H26. 7	
12	吉 本 正 志 (号) 正	"	日本工芸会中国支部幹事長	H23. 2	
13	井 戸 恒 雄	"	山陽放送(株) 総務局参事	H27. 2	新 任
14	清 水 玲 子	"	(株) 山陽新聞社編集局文化部長	H26. 7	
15	原 田 唯 良	"	岡山県議会議員	H24. 7	

## 職 員 一 覧

### 教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文化財課長	山田寛人	

### 岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考
館 長	谷 名 隆 治	
副 館 長	三 宅 克 広	(学芸課長事務取扱)
総 括 参 事	片 山 明 浩	(総務課長事務取扱)
総 務 課	主 任	瀧 元 弘 美
	主 任	友 定 治 道
	主 事	清 水 美 緒
学 芸 課	副 参 事	竹 原 伸 之
	主 幹	内 池 英 樹
	学芸員 (主任)	佐 藤 寛 介
	学芸員 (主任)	重 根 弘 和
	学芸員 (主任)	和 田 剛
	学芸員 (主任)	野 田 繭 子